



第54号 筑紫丘高校同窓会 福岡市南区野間2-13-1 電話092(561)0662 F A X 092(561)0663



同窓会HP [QRコード]

同窓会(おかげさう)

華やかに発足記念イベント

野に秋桜(コスモス)揺れる10月5日(土)、本部の肝いりで今年度発足の運びとなりました。筑紫丘高校女子同窓会「丘女会」の記念イベントが、母校の視聴覚教室で賑々しく開催されました。

女子入学一期生の山本睦子会長(高4)を頂点として、司令塔である松浦ひとみ副会長(高30)の采配のもと、異学年のOG有志が結束し、114人もの同窓生を迎えて、丘女らしい心温まる事業を実施できました。

面白好きの丘女のバラエティーに富んだ企画、賢い丘女の周到な準備、そして持ち場キッチリ、使命感に燃える



山本睦子会長(高4)のあいさつ

イベント後の懇談会



仕事ぶりは「流石」の一言に尽き、筑高女子の面目躍如たるものがありました。

イベント成功の要因は、本校卒業生であるということにありました。畑伴子さん(高31)の筑紫丘陵上部スピリットに裏打ちされたハンサム

熱のピアノ演奏に、聴衆の知性と感性が満たされ、会場は同窓の喜びに溢れる空間となりました。

その後、焙煎技術の世界大会で優勝された後藤直紀さん(高46)にいられた薫り高い珈琲を味わいながら、親交を深めました。それにし

「筑紫丘高校の思い出と上海ビジネス事情」



講演する畑伴子さん(高31)

「筑紫丘高校の思い出と上海ビジネス事情」講演する畑伴子さん(高31)

皆さんの積極的な参加を

年頭あいさつ



年頭に当たりごあいさつ申し上げます。母

校の発展とともに同窓会においても活動は着実に広がり前進しています。今年も「会員の友誼を深め母校の発展に寄与すること」、この会則目的にそって、より多くの方が集い、親しまれる同窓会運営に努めて参ります。

会長 門司 稔

また、首都圏においては学生部会主催による「若手大同総会」が大勢の参加者を集めにぎやかに開催されています。こうした動きは、会員各層に

母校支援に関しましては、一昨年、教育支援基金を創設した

心身ともにタフな人材の育成

年頭あいさつ



上原 洋祐 校長

明けておめでとうございます。本校教育に対するご理解とご支援・ご協力に対しましてお礼申し上げます。

さて教育の世界にも「不易」と流行があります。「不易」の価値と言えは、豊かな人間性、正義感や公正さを重んじる心、自律しつつ他人と協調する心などが該当すると思

21世紀 人類には20世紀繁栄の遺産処理が課せられ、経済のグローバル化が進展し、加えてわが国では人類未経験の超少子高齢化社会に突入し

テーマは「同朋 HARAKARA」

定期総会に向けて

平成26年度総会実行委員長 岩淵 稔(高37)



新年あけましておめでとうございます。

平成25年度の総会において小島洋実行委員長(高36)から襷を受け継ぎ、開催が近づくと日々身の引き締まる思いでございます。

平成26年度の定期総会は、6月7日(土)、福岡市の「ホテルニューオータニ博多」にて、皆様の絶大なるお力添えを賜り、同窓の皆様をお迎えできる運びとなりました。開

開始時刻は午後6時の予定です。今年のテーマは「同朋 HARAKARA」です。母校の誇るべき長い歴史は大変幅広い世代の同窓を輩出してき

こうした資質能力は授業を聞いて学力を高めるだけで身に付くでしょうか。それらは技能や意識が異なる部員が一つの目標に向けて集う部活動

でもまれ、運動会などの大きな集団の中で優勝という共通の目標達成のため悪戦苦闘する体験を通して身に付くものだと思

竹若前副会長逝去



平成25年11月28日、竹若幸二前副会長(高10)が逝去されました。享年74。

竹若前会長は、永年県教育

委員会にて教育行政に携わってこられました。母校下の筑紫丘トンネル工事や講堂の建設にも、行政の立場から積極的

竹若前副会長を偲び、謹んでご冥福をお祈りいたします。(事務局)

部活動報告

平成25年度はインターハイ(全国高校総体)が北部九州開催だったこともあり、出場しなかった部活動も、会場運営の手伝いをするなど、県の部活動全体がとて盛り返った年になりました。本校でも、多くの部活動が日ごろの成果を発揮し、県大会に進みました。中でも陸上部は北部九州大会で6位入賞を果たし、インターハイに出場しました。水泳部、山岳部も前年に引き続き九州大会に出場するなど活躍しています。また、水泳部は新人戦においても、九州大会に出場し、入賞しています。

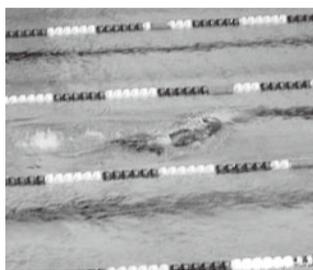


力走する渡辺壮流君(左から3人目)

陸上競技部
3年8組 渡辺 壮流
インターハイ
八百メートル出場
インターハイ予選
(北部九州大会)
八百メートル6位

大分で行われたインターハイに出場しました。自分は高校に入った時に全国大会に出ることができるとは思ってもいませんでした。ここまで頑張れたのはいろいろな人のおかげです。ありがとうございます。今年是自己ベストの記録が出ず、けがもしてあまり調子が上がりませんでした。それでもインターハイに行けたのは、自分が全国に行くこと信じて、言い聞かせ続けたからだだと思います。全国に行けたことはとてもうれしかったです。インターハイで結果を残せなかったのは、どこかで満足してしまっただけです。

▼水泳部
2年3組 松尾 虹歩
インターハイ予選九州大会
百メートルバタフライ出場
全九州高校新人水泳大会
五十メートル背泳ぎ8位



力泳する松尾虹歩さん

私は7月に行われた高体連九州大会に出場しました。とても緊張しましたが、チームメイトや先生方の応援もあり自分の中の精いっぱいを出しきることができました。来年こそはインターハイに出場したいです。また、9月に行われた新人戦では私を含めた18人が九州大会に出場し、ベストを尽くすことができました。これからもチームメイトと切磋琢磨しながら水泳に取り組んでいきたいです。

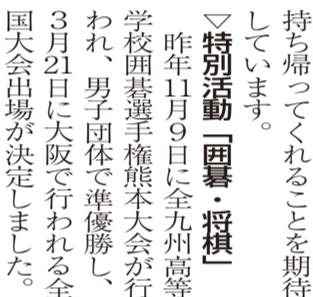
▼高校生科学技術コンテスト
将来の科学技術振興を担う人材を発掘しようと、福岡県



県教委主催の高校生科学技術コンテストで、最優秀賞を獲得した小原君(左)と優秀賞の吉田君

教委が6月に「高校生科学技術コンテスト」を実施しました。これは、思考力や応用力を問われる共通問題と、科目別の記述式テストで行われる難しいコンテストですが、本校でも理科3年生の生徒が生物科目で最優秀賞、物理科目で優秀賞を受賞しました。**【生物】最優秀賞**
3年11組 小原 寛士
福岡県教育委員会が主催する科学技術コンテストで最優秀賞を頂きました。昨年は優秀賞だったので、今年受賞できて、とてもうれしかったです。生物学は、理系の中では選択している人は少ないですが、日々進歩し続けており、医療分野など私たちの生活にも密接に関わってくる奥の深い学問だと思っています。受賞に至るまでに、ご指導くださった先生方、理科や生物部の皆さんには大変お世話になりました。本当にありがとうございました。今後とも筑紫丘高理科の素晴らしい伝統に恥じぬよう努力を続けていきたいと思っています。高校3年間で、他にも生徒会や行事の運営など様々なことを経験させていただきました。

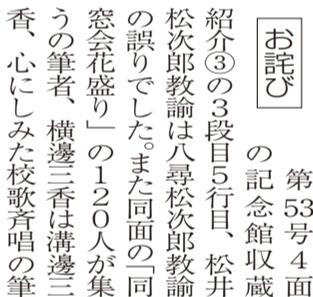
▼特別活動「囲碁・将棋」
昨年11月9日に全九州高等学校囲碁選手権熊本大会が行われ、男子団体で準優勝し、3月21日に大阪で行われる全国大会出場が決定しました。



2年 山下 誠(5段) 野副峻史(3段)

自分に興味のあることに全力で打ち込み、それを支える仲間がいる筑紫丘高校は非常に恵まれた環境でした。僕は筑高生で本当に良かったです。**【物理】優秀賞**
3年11組 吉田 優一朗
1、2年の時は数学を受験しましたが、今年は先生からの強い誘いもあり、物理を受験しました。物理は限られた法則から物体の運動等をすべて明らかにする学問です。1年の頃はこれが理解できませんでしたが、2、3年と知識を深めていく中で、物理と数学との関連性や、その論理性の厳密さがよく分かるようになり、魅了されていきました。高校3年間で自分がどれだけ成長したのかを確かめたく、その集大成をぶつけるつもりで科学技術コンテストに挑みました。2年前と3年前に、僕と同じ部活の先輩方が物理で最優秀賞という成績を収められていたので、「自分も続けたい」と意気込んでいたのですが、2位という結果に終わり、残念でなりません。後輩たちに希望を託し、来年こそは筑紫丘に最優秀校のトロフィーを持ち帰ってくださることを期待しています。

お詫び
第53号4面の記念館収蔵紹介③の3段目5行目、松井松次郎教諭は八尋松次郎教諭の誤りでした。また同面の「同窓会花盛り」の120人が集うの筆者 横邊三香は溝邊三香、心にしみた校歌斉唱の筆者、小山正實は小松正實の誤りでした。訂正してお詫びいたします。



全国出場を決めた特別活動「囲碁・将棋」の生徒たち (2年11組 野副峻史)

1年 空田 聡(3段) 部室で一生懸命練習した成果を存分に発揮し、囲碁として始めて以来の全国大会出場を成し遂げることができました。これは自分たちの努力だけではなく、熊本へ送り出してくれた学校の方々、応援してくれた皆さんのおかげだと思います。全国大会に出場するに当たってたくさんの方々から祝福や激励の言葉を頂きました。その期待に応えるべく大会当日まで一生懸命練習し、本番に備えたいと思います。全国大会では各地方の強者たちが集まるとは思いますが、自分たちの力を出し切れるように頑張ります。

同窓会

★還暦記念の同窓会 丘仁志会(高24)は還暦を迎えた祝いに三つのイベントを行いました。5月に関西で同窓会を開催し、6月の定期総会で同窓の「うえやまとち」さんデザインのもの、真赤なそろいのTシャツを着て祝いました。11月の済州島旅行で世界遺産を巡り、パワースポットで力を

蓄え、素晴らしい思い出となりました。飲んで、食べて、笑って還暦の節目は、楽しい一年となりました。 内田洋子(高24)



定期総会で還暦記念の赤いTシャツを着た高24回生

★関東「ほの字会」開催 平成25年10月19日(土)、関東在住の第18回卒業生による「ほの字会」(会長・森永茂樹、副会長・田中薫、代表幹事・伊丹侃)が東京港区新橋で開催されました。会が把握している関東在住会員は88人、全員が現役を退く年齢にあり、関東を終の棲処とする人も少なくありません。毎年秋に開催し、東京の名跡を歩くイベントと懇親会の二本立てで、親交を深めています。

れる」若さを保ち、頭に「古い」が付かぬよう五輪開催まで元気を保つことを誓い合いました。伊丹侃(高18)



在関東の高18回生の集い「ほの字会」

★首都圏同窓会382人参加 平成25年度の首都圏同窓会総会・懇親会は、11月9日(土)、目黒雅叙園で382人の参加を得て開催されました。総会では母校2年生の東京研修、大学生が集うTokyo Hills、就活生向けの就活の会、10年代ごとの20's~60'sの会な

ど、恒例の活動が紹介され、また、今後の運営方針として連携・インフラ・財務の強化が報告されました。懇親会では、同級生の横の繋がりと世代を超えた縦の繋がりをさらに深めるとの思いを込めた「つなぐ」というテーマのもと、福岡の応援も含めた80余人の36回生がおもてなしに努めました。今年の企画である国内外で活躍する卒業生の紹介、かしわ飯やがめ煮の提供など喜んでいただけたと思います。また筑高体操や応援団による応援歌・校歌では、世代を超えた一体感が会場を包みました。首都圏同窓生の繋がりがさらに磐石になり、首都圏同窓会のみならずの躍進・発展を期待します。 幹事学年代表 亀山 伸(高36)

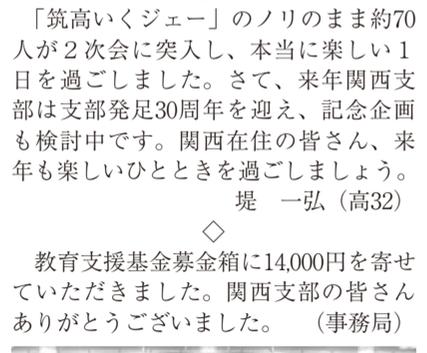
18人にのぼり、年々盛会になっていく様を感じました。総会に続いて開催した親睦の集いでは、恒例となった席替え、昨年好評だったテーブル対抗筑高クイズ、今回初企画の運動会DVD鑑賞を通じ、笑いあり、感動ありの雰囲気の中、学年・世代を超えた交流が行われました。また、36回、37回卒業生による郷土品・筑高グッズ販売(こちららもほぼ完売)を通して幹事学年(卒後30年)世代の強い団結力も印象的でした。「筑高いくジェー」のノリのまま約70人が2次会に突入し、本当に楽しい1日を過ごしました。さて、来年関西支部は支部発足30周年を迎え、記念企画も検討中です。関西在住の皆さん、来年も楽しいひとときを過ごしましょう。 堤 一弘(高32)



382人を集めた首都圏同窓会

★関西支部総会・懇親の集い 10月27日、ホテルグランヴィア大阪にて、第30回筑紫丘高校同窓会総会・親睦の集いが開催されました。今年には福岡・東京からの来賓・ビジターを含め96人が集いました。また、今回初参加の方も

教育支援基金募金箱に14,000円を寄せていただきました。関西支部の皆さんありがとうございました。(事務局)



世代を超えて集まった同窓会関西支部の面々

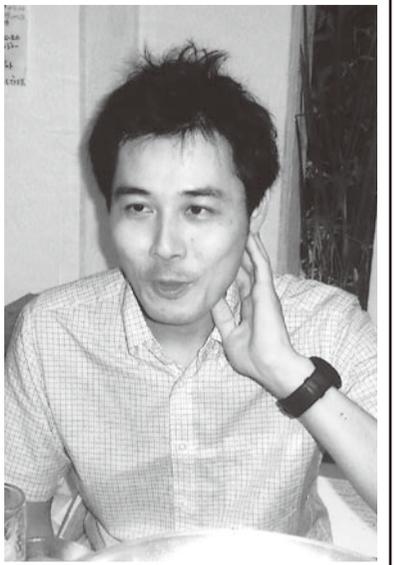
「珈琲」で大活躍

対談

小説家の岡崎さん × 焙煎士の後藤さん



「小説家なら1人でできる」と岡崎さん



「珈琲好きは多趣味な人が多い」と後藤さん

今年度、同窓会を沸かせたキーワードの一つ。それは「珈琲（コーヒー）」だろう。立役者は珈琲焙煎士として「ジャパン・コーヒー・ローディング・チャレンジ」で優勝、さらに日本代表として世界選手権である「ワールド・ロースティング・チャンピオンシップ」に出場し、見事、世界一の焙煎士の栄冠を獲得された後藤直紀さん（高46）。そして宝島社主催の「このミステリーがすごい大賞」の隠し玉に選ばれ、出版されるや否や、2作目と併せて、販売部数が百万部を突破した『珈琲店タレーランの事件簿』の作者である小説家の岡崎琢磨さん（高57）のお2人である。

若き同窓生が奇しくも同じ年に「珈琲」という同じキーワードで大活躍した。そんな大活躍ぶりを目的の

たりにしてしまつた筆者は図々しく、2人に対談を依頼した。すると「専門家であるのみならず、世界をも制された後藤さんのお相手が務まるかは心もとないのですが、ぜひ一度お会いして、お話をさせていだきたいと思つておりました」。岡崎さんから早々のお返事をいただき、対する後藤さんからも「こちらこそ、よろしくお願いします」と拍子抜けするほどあっさりとお話が決まつた。

9月某日、春日原の料理屋で対談を行った。お2人ともお酒が飲めるといふことで、お酒を片手に思う存分放談していただいた。

◇

岡崎さん（以下「岡崎」）いづから珈琲の焙煎をしてみようと思われたんですか。後藤さん（以下「後藤」）も

ともとは、筑紫丘の同級生やその周りの仲間たちが始めた「珈琲部」という、喫茶店で珈琲を飲もうというサークル活動みたいなものがきっかけですね。毎週集まって喫茶店で珈琲を飲む。ただそれだけの集まりです。でも、サークルが原点だと思えます。

焙煎を始めたきっかけは、お金がなくて生豆を買つてきては自分で焼いていたんです。そのうちにロースターの仕事を探したりして、いんだすがなかなかなくて、「よし！自分でやるよ」と思つて始めました（笑）。岡崎さんはどうして小説家になろうと？

岡崎 学生の頃は、同級生たちとバンドを組んで音楽に没頭していました。でも、みんな進学や就職でだんだん集まらなくなつて。「音楽はなかなか一人ではできない」と、そう思つていた時に、「小説家になら一人でもできる！」って思つたんです（笑）。

後藤 珈琲というのは、本来、人生に必要なものではないんです。だから珈琲が好きなんつて言うのは結構多趣味な人が多いですよ。岡崎さん、音楽に小説に、と多趣味ですよ。小説読ませてもらいたいが、アドバイザりたいな方はいるんですか。

◇

岡崎 実はいないですよ。後藤 それならものすごく勉強されてますね。岡崎 プロにそう言つていた

だくと書いてる側としては安心しますね。後藤 あれだけ本が売れるとお忙しいんじゃないですか。岡崎 おかげさまでですね

（笑）とはいえずいぶん落ち着いてきました。後藤 ベストセラー作家つていうのは時間は不規則なんですか。

岡崎 僕自身は、実家のお寺の仕事を手伝いながら小説を書いているので、基本的には毎日お寺に行かないといけないんですよ。ですの

で、割りと規則正しい生活をしてますよ。後藤 小説家のイメージつて、ホテルに缶詰めで原稿書いてるみたいなイメージでしたけど。

◇

岡崎 全然そんな事はないです。お寺で書いたりして

でもいつかは温泉宿に投宿して作品を書くみたいなことには憧れますけどね（笑）。

先輩の方こそお忙しいんじゃないですか。後藤 電話がよくかかってくるようになりましたね。「お店、どこですか？」「営業時間何時までですか？」みたいな。

岡崎 なかなか、仕事を手につかない感じですね。後藤 そうですね。でもあり

たいことですけどね。世界一になつて思うことは、珈琲の世界は結構コネがある世界で、誰が淹れたか、誰が焼いたかという先入観が生まれ易いんですよ。だから、コンテストはブ

◇

ラインドでやるのが基本で、これをトレースしていくことで信頼関係を築いていくんです。そういう意味では、小説

家にはペンネームが存在して、誰が書いたか分からないけど、「面白い」「面白くない」で判断されるからとても公平な世界だと思えますね。ちなみに？

岡崎 本名です（笑）。



対談後、握手を交わす焙煎士の後藤直紀さん（右）と小説家の岡崎琢磨さん

人が来るんだろう」「あいさつとかできる人なんだろうか」という気持ちで来ました（笑）。

正直、意外に常識人で、こうやって普通にお酒が飲めることがうれしいですね。岡崎 珈琲の専門家に会うのは緊張しました（笑）。言葉の一つ一つに含意があつて、全てが小説のセリフになりそうです。大きな収穫

◇

まだまだ、話し足りないような様子のお2人でしたが、まったく職種の違いが、フェッショナルが共通話題で、意思を疎通しあう様を見せていただき、一番感動したのは筆者かもしれません。お2人の今後のさらなる活躍を心より祈念いたします。会報委員・前川健太（高49）

後藤 もし、なにかあつたらいつでも連絡してください（笑）。

岡崎 ものすごく心強いアドバイザーがついてくれた気がします。今日はありがとうございました。その前に、1度お店におうかがいしますね（笑）。

宴座

前立腺がんを患つた。選択する治療法は外科手術、放射線、ホルモン療法。最終的に自身で決めなければならぬ。主治医は手術を勧めたが、成功の確率は「6割ほど」と言われ、考えは放射線に傾いた。昨年1月ことだ。どこで治療するかを決めかねていたとき、実兄から「鹿児島に先進医療があるばい」との助言があり、急ぎネットを検索すると、鹿児島県指宿市の「がん粒子線治療研究センター」が見つかった。

セカンドオペニオンで出向くと「ここでは陽子線で行います。化学療法や放射線の代わりでなく、手術の代わりに治療です」との説明を受け、治療に踏み切った。

放射線には光子線と粒子線の2種ある。光子線はエックス線とガンマ線、粒子線には陽子線（水素）と炭素イオン線（重粒子）だ。

私の場合、照射時間は1日1分で39回だった。むしろ照射前に体調を整えるための時間も必要だ。通院となるため併設のホテルに宿泊。治療費を含めると数百万円かかったが、日常生活に何の支障もなく終えることができた。

治療を終えて約半年。血液検査によるPSA数値は当初の「12.47」からグッと下がった「1.55」に。一概に言えないが、腫瘍の疑いがあるかどうかの目安は「4」。

がん予防のキーワードは「たばこ」「食事」「心」。御自愛を。 N・M（高18）